

令和8年度 第1回鳴門市総合計画審議会 議事概要

【日時】 令和8年6月11日（木）16:00～17:00

【場所】 市役所2階 大会議室

【出席者】 審議会委員 24名

鳴門市関係者 25名（うち事務局4名）

計画策定支援業務受託事業者 4名

【傍聴者・記者】 2名（傍聴者1名・記者1名）

【次第】

- 1 開 会
- 2 市長挨拶
- 3 会長挨拶
- 4 委員紹介
- 5 諮 問
- 6 議 事
 - （1）第七次鳴門市総合計画後期基本計画の策定について
 - （2）策定スケジュールについて
 - （3）ウェブアンケートの実施について
- 7 その他
- 8 閉 会

【会議資料一覧】

- 資料1 第七次鳴門市総合計画後期基本計画の策定について
資料2 第七次鳴門市総合計画後期基本計画策定スケジュール
資料3 ウェブアンケート（案）
資料4 鳴門市総合計画審議会委員名簿
資料5 鳴門市附属機関設置条例
資料6 鳴門市総合計画策定に関する要綱
参考資料 市民アンケート
参考資料 高校生アンケート

【会議経過】

- 1 開会后、市長挨拶および審議会長挨拶
- 2 審議会委員及び鳴門市関係者を司会より紹介
- 3 市長より審議会へ諮問
- 4 議事（１）について、事務局より資料①の説明、審議会委員質疑
- 5 議事（２）について、事務局より資料②の説明、審議会委員質疑
- 6 議事（３）について、事務局より資料③の説明、審議会委員質疑
- 7 その他として今後の会議予定を確認
- 8 閉会

議事に関する主な質疑等は以下のとおり。

◆議事（１）第七次鳴門市総合計画後期基本計画の策定について

事務局から資料をもとに説明を行いました。

【委員】

事務局から説明があったように、高校生などの若い人も含めた多様な意見をアンケートなどから総合的に勘案して策定してほしい。

【委員】

計画は内部的な整合性から行政用語を用いることが多いが、市民の理解を得ることが重要なので、わかりやすい計画にするための工夫は何か検討しているか。

【事務局】

計画を策定するにあたり、市民の方々の理解が重要と認識しているので、行政用語は多用せず、可能な限り読み手に伝わりやすい表現に留意する。

また、後期基本計画はボリュームのある内容になると考えられるため、概要版の作成を行い、すべてを読み込まなくても内容の確認ができるようにしたい。

【委員】

総合計画の主要施策に、全国学力テストの全国平均値を上回るという基本目標があり、意欲的な目標と評価しているが、毎回平均得点に達しておらず、計画の自己評価がDである。目標の難易度が高すぎると思う一方、その他の事業の目標の難易度とのバランスに気になっている。市として、具体的な目標値の設定をどう考えているのか伺いたい。

【副市長】

重要視していることは、市民生活の満足度、市民の幸福度をいかにして高められるかというところを目標に設定している。

【委員】

市民の幸福という視点は大切だと思うが、多くの事業で全国平均のような厳しい目標設定が必要ではないか。

【副市長】

具体的な指標については、国や他市との数値を参考にしながら、鳴門市のまちづくりを前に進めていくような目標設定に取り組む。

【委員】

アンケートについて、高校生は1,500人と認識しているが、一般市民は何名が対象になるのか。

【事務局】

4月1日時点で18歳以上の方を無作為に3,000名抽出し、実施予定である。

◆議事（2）策定スケジュールについて

事務局から資料をもとに説明を行いました。

※委員からの意見なし

◆議事（3）ウェブアンケートの実施について

事務局から資料をもとに説明を行いました。

【委員】

アンケートの市内居住者と市外居住者を区別する記載の配色見えづらいので実際のアンケートでは配慮してほしい。

【事務局】

会議資料として項目を色分けさせていただいたが、Webアンケートについては回答によってその項目が対象者に自動的に表示されるが、これから作成する総合計画の冊子や会議資料作成に対してそうした配慮は必要と考えるため、十分に配色に留意する。

【委員】

アンケートの周知の方法はどのように行うのか。また、誰でも回答できるのか。

【事務局】

市民アンケートについては、無作為抽出をした 3,000 人の市民を対象にアンケートを郵送している。

また、市内外の人も対象に含めた Web アンケートについては広報なると 7 月号に設問に繋がる二次元コードを掲載する予定である。広く意見を募りたいので市民の方が市外の知り合いにも勧めていただくような案内を行う予定である。加えて、市の公式 LINE や X(エックス)、市が持つ全国向けの周知媒体等も活用して発信したい。

【委員】

学校の保護者が利用するマチコミメールで流すことで、保護者にも見てもらえると思うので、検討していただきたい。

【委員】

Web アンケートは何件ぐらいの回答数を想定しているか。

【事務局】

初めての試みであるため、具体的な目標数値については設定していないが極力多くの方に応えていただきたいと考えている。

【委員】

アンケートに答えると、景品がもらえる、などの動機付けはないのか。ただ協力を依頼するだけでは、回答してもらうことは難しいのではないか。ネット上にアンケートは多くあるため、単なる回答依頼だと回答は得られにくいのではないか。

【委員】

そのほかの Web アンケートの実施事例では、調査を代行していただけるサービスもあるがその活用については検討しているか。

【事務局】

市庁内でも同様の懸念があったので、民間で一般的に実施されている特典付きアンケートの費用を調査したところ、数十万単位で費用が必要であったため、現在のところは、特典の付与や民間への委託をせず、市のツールのみで実施したいと考えている。

【委員】

一般の方がアンケートに答える動機が少なく協力が得られにくいのではないかと。費用を惜しまず、どれだけの費用をかけるべきか市全体で検討し、予算をかけてやるべきだと思う。

【事務局】

これまで市民アンケートは多くの方の善意によるご協力により成り立っていたが、今後もこの実施方法で問題ないという確証はないため、予算と期間も考慮しながら事務局で検討したい。

【委員】

回答分析に有効なサンプリングが取れるよう調査方法を工夫して検討していただきたい。

【事務局】

今回のアンケートについては1人1回答となるよう、システム上で設定をする。ただそれでも結果に異常値が出た場合は、内容の精査を行う想定である。

【未来戦略局長】

Web アンケートについては、直近の庁内の策定委員会で取り組むべきとの意見が出たため、実施を行うものである。市内だけでなく、市外の方にも意見を聞くべきということで、今回実施を予定している。

サンプル数については、サンプル数を増やす方法を予算も含めて事務局にて再度検討したい。

【委員】

詳細なデータを取得したい意図は理解できるが、文字が多く、質問が固い印象がある。イラストを入れるなど、答えやすさを工夫してはどうか。同じ内容でも、受け取り手の印象が柔らかくなるような表現を心掛けてほしい。

【委員】

アンケートの最初に回答に要する所要時間を記載してはどうか。

【委員】

多くの方にアンケートに興味関心を持ってもらうために、すべての方に特典を付けるのではなく、抽選式での得点付与でもいいのではと思う。